

# 東京民医連

# 東日本大震災 ニュース

2011年3月18日

No.23

発行：東京民医連事務局

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール:sien@tokyominiren.gr.jp

## 東京民医連の現地支援隊第2陣が帰任

東京民医連の支援部隊第2陣の譜久村事務局次長と滝澤医師部副部長が17日夜帰任し、報告を受けました。**現地の燃料不足の解決は緊急！**

ガソリン不足のため緊急往診、必要な医療材料や患者給食の配送も難しく、職員も通勤困難となり1～2時間かけて徒歩で通勤する人や泊まり込んでいる人も多数います。

また避難所での体調悪化やもともと受診していた患者への対応に支障が生じはじめていて、今後は二次被害への対応が求められます。

全国から寄せられた支援物資の仕分けをはじめ、行政とも協力しながら避難所などへ配布するルートが少しずつでき始めてきています。



雪が降りしきる中、給水に並ぶ被災者

## 病棟「リネン不足」が深刻

この間の電力不足と燃料不足に伴い病棟のリネン交換に支障が出始めてきています。

柳原リハビリテーション病院では外注業者から「ベッドメイキング等の定期交換を控えてほしい」旨のお知らせが3月14日付でだされたため定期交換は中止し、汚染が目立つなどのケースのみの対応としました。ユニホームは別業者に依頼しているので通常通り回収・クリーニングできています。

柳原病院では今週定期交換はできましたが、これから定期交換できる見通しが無いので汚染時のみの交換としました。今後の状況によっては自前での洗濯交換も考えています。

あきしま相互病院ではシーツ交換は汚染時と退院時とし、定期交換は当面中止しました。職員ユニホームは当面各自持ち帰り行うこととしました。

## 行政と懇談 現場の実態と要求を伝える 文京区 東京保健生協

老健やデイケアでは、ガソリン不足で送迎が困難になりサービスの縮小や土曜日祝日を休業せざるを得ない事態となっています。3月17日東京保健生協では以前から計画していた文京区の介護保険課との懇談を行い、震災による介護サービス提供の困難さについて行政支援を求めました。

具体的には①送迎のガソリンが深刻②食品はじめ日用品がスーパーやコンビニではもはや手に入らず、通常の取引業者からも入手できない。これに対し行政の担当者は一定の食材の備蓄をしているが施設対応は考えていなかったと回答。これに対し東京保健生協斎藤介護部長は「最低限入所サービスについては責任ある対応をお願いしたい」とうたったえました。

東京民医連のホームページにニュースと義捐金募集のページをUPしました。

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>